

科 目 名	家庭基礎	単 位 数	2 単位	学 科 ・ 学 年	農業総合科・畜産総合科 森林総合科・環境土木科 食品ビジネス科 1 年			
使用教科書	図説 家庭基礎 実教出版			副 教 材 等				
目 標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。							
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。							
	①知識・技能		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。					
	②思考・判断・表現		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして問題を解決する力を身に付けている。					
	③主体的に学習に取り組む態度		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。					
			評価方法\観点	①	②	③		
学習状況観察			—	—	◎	自己評価の実施		
ノート（ワークシート）			○	○	◎	学習ノート		
実習の記録・実験結果			○	◎	○	実験・レポート		
ペーパーテスト			◎	○	—	定期考査		
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。							
履 修 上 注 意	○授業は板書、プリント等を利用するのでノートやファイルを用意すること。 ○実習の記録等は実習・実験後直ちに提出すること。							
学 期	学 習 内 容		時 数	学 習 の ね ら い		学 習 活 動 （ 評 価 方 法 ）		
1 学 期	第1章自分らしい生き方と家族		5	○生活設計の方法と生活資源の重要性について理解する。 ○家庭の機能の変化や現代の家族の特徴について理解し、家族の協力により家庭を築き上げることの重要性について把握する。さらに家族に関する法律や男女共同参画社会についても理解する。		ワークシート		
	1 生涯発達する人生							
	2 これからの人生をデザインする							
	3 青年期を生きる							
	4 生活を支える労働							
	5 生活時間から見えてくるもの							
	6 男女共同参画社会をめざして							
	7 現代の家族							
	8 家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題							
	9 家族に関する法律の理念と変化							
	10 家族にかかわる法律							
	第2章 子どもとかかわる		9	○乳幼児の心身の発達と生活について理解する。 ○子どもの保育及び福祉について理解し、子どもを生み育てることの意義を考える。また子どもの健全な発達のために、親や家族及び社会の果たす役割が重要であることを理解する。		ワークシート (自己評価、学習状況観察、提出物、定期考査)		
1 子どもの誕生								
2 からだの発達								
3 運動機能の発達と知的発達								
4 かかわりのなかの発達								
5 子どもの生活習慣と健康								
6 子どもの食生活・衣生活								
7 子どもと遊び								
8 親になることを考えよう								
9 すこやかに育つ環境と支援								
10 子どもを守る法律・制度								
第3章 高齢者とかかわる		5	○高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について理解し、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について理解する。		ワークシート			
1 高齢社会に生きる								
2 高齢者を知る								
3 高齢者のサポートと介護の心								
4 高齢社会を支えるしくみ								

	第4章 社会とかかわる 1 共に生きるために 2 社会保険制度－公助－ 3 社会の一員としての私たちの役割 －互助・共助－	5	○共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。	ワークシート (自己評価、学習状況観察、提出物、定期考査)
夏休み	ホームプロジェクト		○自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践しようとする。	ホームプロジェクト記入用紙 (ホームプロジェクト発表表)
2学期	第5章 食生活をつくる 1 私たちの食生活と健康 2 5大栄養素 3 炭水化物 4 脂質 5 たんぱく質 6 ミネラル 7 ビタミン 8 その他の食品 9 食品の選択と表示 10 食品の衛生 11 食料自給率と食のグローバル化 12 食の未来と環境への取り組み 13 食事摂取基準 14 食品群別摂取量のめやす 15 献立作成 16 調理の基本 調理実習（年間3回） 第1回(和食) 第2回(洋食) 第3回(中華)	10	○食の重要性について理解し、自分の食生活を見直し、さらに現代の食生活の現状と問題点について考える。 ○栄養素の種類と特徴、それらの栄養素を多く含む食品の性質について理解する。 ○食品の正しい選び方や扱い方を理解する。 ○食品の1日の摂取量を具体的に把握できるようになる。	ワークシート ワークシート
	第8章 経済的に自立する 1 日々の収入・支出を把握する 2 社会と家計の変化 3 長期的な経済計画を立てる 4 経済のなかの家計	6	○調理の基礎的な技術や知識を身につけるとともに、正しい食卓マナーで食事をとることのできる実践力も身につける。	調理実習の記録 (自己評価、学習状況観察、提出物、定期考査)
	第9章 消費行動を考える 1 契約と主体的な消費行動 2 多様化する販売方法と問題商法 3 消費者を守る制度・法律 4 多様化する支払い方法 5 消費者の権利と責任 6 持続可能な社会の構築 7 持続可能な社会をめざす取り組み	4	○家庭生活や消費生活に関する基礎的な知識を学び、現代の消費生活の課題について理解し、消費者として責任を持った行動のできる実践力を身につける。	ワークシート
		6	○消費行動における意思決定のプロセスや、生活情報の活用について学ぶ。 ○多様化する販売方法についてそれぞれの特徴を理解する。 ○環境に配慮した持続可能な社会をめざして行動できる実践力を身につける。	ワークシート (自己評価、学習状況観察、提出物、定期考査)
	第6章 衣生活をつくる 1 人と衣服のかかわり 2 健康で安全な衣服 3 衣服素材の種類と特徴 4 衣服素材の性能と改善 5 衣生活の計画と購入 6 衣服の管理 7 家庭での選択・保管 8 持続可能な衣生活をつくる	10	○衣服素材の性能について理解する。 ○衣服の入手から処分まで、衣生活を計画的に考えられる方法を理解する。 ○家庭洗濯の方法とポイントを理解し、適切な管理ができるようになる。	ワークシート
	第7章 住生活をつくる 1 人と住まいのかかわり 2 平面計画からみた住空間 3 ライフステージと住まいの計画 4 健康に配慮した住まい 5 安全な住まい 6 持続可能な住まい 7 これからの住まい	10	○家族の住生活を健康で快適に営む姿勢を身につける。 ○住まいの清掃やメンテナンスについて理解する。 ○家庭内事故と安全な住環境について理解する。	ワークシート (自己評価、学習状況観察、提出物、定期考査)